

西南学院大学大学院修士学位取得のためのガイドライン

1. 修士学位取得の要件

在学期間

本研究科博士前期課程に2年以上在学し、必要な研究指導を受けていること。

ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績をあげた者については、博士前期課程に1年以上在学すれば足りるものとする。

単位要件

修了単位の要件は西南学院大学大学院研究科規則第3条に定めるところによる。

研究指導

以下に掲げる学位論文提出までのプロセスを経ているものとする。

2. 学位論文提出までのプロセス

研究指導

学位論文作成にあたっては、指導教員が研究指導の責任を負う。

学生は、指導教員による必要な研究指導を受け、専修科目によって修士学位論文を作成する。

学位論文提出までのプロセス

学位論文提出までのプロセスについては、以下のとおりとする。

- (1) 1年次4月上旬：指導教員の指導に基づき、修士学位論文作成の研究計画を立てる。「研究指導計画書」を作成し、指導教員による確認を経て、大学院事務室へ提出する。
- (2) 1年次3月下旬：「研究指導報告書」に研究遂行状況を記入し、指導教員による研究指導の概要および所見記入を経て、大学院事務室へ提出する。
- (3) 2年次7～9月下旬：
修士学位論文中間報告として「論文構想」を発表する。教員や大学院生の指導・助言を研究に反映させ、論文の改善をはかる。

※(1)と(2)のプロセスを1、2年の各年次に、(3)のプロセスを2年次に実施する。

※長期履修生は、(1)と(2)のプロセスを1、2、3年の各年次に、(3)のプロセスを3年次に実施する。

3. 修士論文に求められる要件

修士論文の要件は以下の項目を満たすものとする。

- (1) 研究分野に関する知識の適切性
- (2) 研究テーマおよび研究内容の適切性 (※)
※神学研究科、人間科学研究科は「研究テーマに対する研究方法及び研究内容の明瞭性と独創性」
- (3) 論旨の明瞭性と文章の完成度 (※)
※神学研究科、人間科学研究科は「趣旨の明瞭性と文章の完成度及び論文発表の適切性」

4. 学位論文提出における指導教員による承認

西南学院大学学位規則に定める第4条を満たし、指導教員から当該論文の内容・水準・形式について確認及び指導を受け、指導教員が十分な水準であるとの判断をした場合に、論文を提出することができる。

5. 修士論文の提出書類・提出期日について

論文提出

- (1) 論文提出時期は、論文提出年度の1月中旬とする。
- (2) 詳細は、論文提出年度の6月および11月に提示する「修士論文提出要領」にて確認する。
- (3) 論文提出受付は、指定提出日・指定時間内のみとする。提出締め切り時間経過後は、理由の如何を問わず受け付けない。

提出書類

- (1) 「修士論文」4部
- (2) 「レジュメ」4部

6. 学位審査の概要

審査委員の選出

研究科委員会は、提出された修士論文に対して主査1名及び副査2名以上の審査委員を選出する。

審査委員による面接試問

- (1) 審査委員は、当該修士論文を中心としてこれに関連ある科目について、試問の方法により審査を行う。審査終了後、審査委員は研究科委員会に合否の提案とその理由を記した審査結果報告書を提出する。
- (2) 面接試問は論文提出年度の1月下旬から実施する。

研究科委員会の合否判定

研究科委員会は審査委員からの報告をもとに、審議のうえ合否を決定する。研究科委員会で合格と認められた者には、修士学位が授与される。

7. 合否判定後の修士論文の取り扱いについて

審査に合格した論文は、提出した論文のうち1部を西南学院大学図書館で製本・保存する。